

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公開番号】特開2008-9325(P2008-9325A)

【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2006-182327(P2006-182327)

【国際特許分類】

G 03 G 15/02 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/02 103

G 03 G 15/02 101

G 03 G 15/02 102

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月29日(2009.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子写真感光体に接触し回転可能な帯電部材に振動電圧を印加する電圧印加手段と、前記帯電部材に印加された振動電圧の振幅値 V_p を検出する電圧振幅値検出手段と、前記振動電圧の微分波形の振幅値 V_d を検出する微分電圧振幅値検出手段と、を有し、 $|V_p - V_d|$ が閾値 V_{th} 以上となった場合に、前記帯電部材表面に付着した汚染物を除去するためのクリーニングシーケンスを実行する

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

電子写真感光体に接触し回転可能な帯電部材に振動電圧を印加する電圧印加手段と、前記帯電部材に印加された振動電圧の振幅値 V_p を検出する電圧振幅値検出手段と、前記振動電圧の微分波形の振幅値 V_d を検出する微分電圧振幅値検出手段と、を有し、電子写真感光体の画像形成領域を帯電する際に前記帯電部材に印加される振動電圧は定電流制御され、

$|V_p - V_d|$ が大きくなるにつれて、前記定電流制御の目標電流を小さくする

ことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上記目的を達成するために、本発明の第1の発明は、

電子写真感光体に接触し回転可能な帯電部材に振動電圧を印加する電圧印加手段と、前記帯電部材に印加された振動電圧の振幅値 V_p を検出する電圧振幅値検出手段と、前記振動電圧の微分波形の振幅値 V_d を検出する微分電圧振幅値検出手段と、を有し、 $|V_p - V_d|$ が閾値 V_{th} 以上となった場合に、前記帯電部材表面に付着した汚染物を除去するためのクリーニングシーケンスを実行することを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明の第2の発明は、

電子写真感光体に接触し回転可能な帯電部材に振動電圧を印加する電圧印加手段と、前記帯電部材に印加された振動電圧の振幅値 V_p を検出する電圧振幅値検出手段と、前記振動電圧の微分波形の振幅値 V_d を検出する微分電圧振幅値検出手段と、を有し、電子写真感光体の画像形成領域を帯電する際に前記帯電部材に印加される振動電圧は定電流制御され、 $|V_p - V_d|$ が大きくなるにつれて、前記定電流制御の目標電流を小さくすることを特徴とする画像形成装置である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】